

主な認知症の種類と特徴

アルツハイマー型認知症

- 最も多い認知症
- 軽度の物忘れから徐々に進行
- やがて場所や時間の感覚がなくなっていく



アルツハイマー

振り向き現象

作話・取り繕い

- ☐ 数分前の出来事を思い出せない
- ☐ 季節や状況に応じた服を選べない
- ☐ 食事の準備などの段取りが悪くなる
- ☐ 作話・取り繕いが多くなる
- ☐ 薬の管理ができない

徐々に発症し、症状がゆっくり進行する

脳血管型認知症

- 脳梗塞や脳出血など脳血管疾患が原因
- 疾患を繰り返すことで段階的に進行
- 生活習慣を改善すると発症や悪化を予防できる



部分的に脳が損傷

予防効果が高い



脳血管性

- ☐ 転びやすい
- ☐ 痺れや麻痺、歩行障害がある
- ☐ 計画を立てて物事を行えない
- ☐ ちょっとしたことでも泣いたり興奮する
- ☐ ある程度病識があり、悲観的な考えをする

主な認知症の種類と特徴

レビー小体型認知症

- 実際に見えないものが見える（幻視）、現実の状況を正確に把握できなくなることがある
- 手足の震えや筋肉のこわばり、転びやすくなる

心身に具体的な
症状が現れやすい



レビー小体型

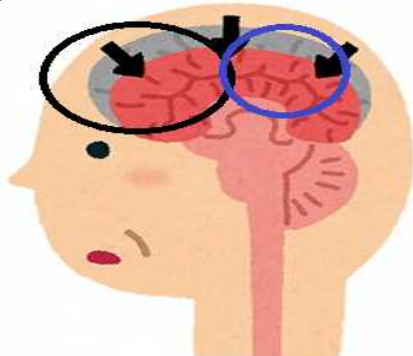
- ☐ 家にいないはずの人や虫が見える
- ☐ 物を盗られたなど妄想を抱く
- ☐ パーキンソン症候群
(手の震え、小刻み歩行 など)
- ☐ レム睡眠行動障害
- ☐ 抑うつ症状
- ☐ 自立神経失調症
(便秘、立ちくらみ など)
- ☐ 一日のうちでも状態が変化する

パーキンソン病と同じ病態で「兄弟病」と言われる

前頭側頭型認知症

- 物忘れがあまりみられない
- 集中力や自発性の低下、自己本位な行動をとるなど意欲・理性・感情のコントロールが難しくなる

社会性を司る
前頭葉・側頭葉 萎縮



前頭側頭型

我が道を行く

- ☐ 同じものを食べ続ける
- ☐ 万引きやルールが無視
- ☐ 同じ時間帯に同じ場所を回る（周回）
- ☐ 協調性がなくなる
- ☐ 反社会的行動が出てくる